

# 広島文学資料室サテライト展示

## 「生誕90年 竹西寛子 ー随想を読むー」展示資料リスト

\* 著者は全て 竹西寛子

書名	出版社	出版年
『道づれのない旅』	新潮社	昭和45(1970)年11月
『ものに逢える日』	新潮社	昭和49(1974)年2月
『月次抄』	青土社	昭和53(1978)年10月
『古語に聞く』	講談社	昭和56(1981)年5月
『落伍者の行方』	青土社	昭和56(1981)年9月
『ひとつとや』	毎日新聞社	昭和58(1983)年3月
『時のかたみ』	新潮社	昭和59(1984)年3月
『丘の上の煙』	青土社	平成2(1990)年8月
『水の断章』	淡交社	平成3(1991)年3月
『太宰府の秋』	青土社	平成5(1993)年11月
『詞華断章』	朝日新聞社	平成6(1994)年12月
『海からの風』	青土社	平成9(1997)年12月
『山河との日々』	新潮社	平成10(1998)年10月
『虚空の妙音』	青土社	平成15(2003)年7月
『「いとおいしい」という言葉』	青土社	平成18(2006)年7月
『望郷』	青土社	平成21(2009)年2月
『一瞬の到来』	青土社	平成23(2011)年9月
『「あはれ」から「もののあはれ」へ』	岩波書店	平成24(2012)年11月
『自選竹西寛子随想集』(全3巻)	岩波書店	平成14(2002)～15(2003)年
「瀬戸内 ー山河との日々 9ー」		「波」平成8(1996)年1月号掲載
「境界について」		「現代」平成8(1996)年5月号掲載
色紙「花にわかれぬはるはなし」		
原稿「他人の目を逃れたとしても」		「暮しの設計」昭和46(1971)年12月号掲載
		「うしろ姿」と改題し、『ものに逢える日』に収録
原稿「喚起力としての御物」		「太陽」昭和47(1972)年1月号掲載
		「正倉院」と改題し、『ものに逢える日』に収録